

健康医療科学部

医療貢献学科

Faculty of Health and Medical Sciences | Department of Medical Sciences

NEW 理学療法学専攻
(仮称・設置構想中)

NEW 臨床検査学専攻
(仮称・設置構想中)

言語聴覚学専攻 視覚科学専攻

「理学療法学」と「臨床検査学」が加わり、
全世代を対象としたチーム医療に貢献。



2024年4月
開設予定

記載の内容は現在構想中の予定であり、変更される可能性があります。



伝統は、たちどまらない。

愛知淑徳大学

「理学療法」と「臨床検査」が加わり 予防と診療における チーム医療・健康増進に貢献。

急速な高齢化や医療技術の高度化に伴い、多様な医療専門職がそれぞれの専門性を発揮して、主治医とともに業務を分担する「チーム医療」がますます強く求められています。また、医療従事者が療養者の生活の場に出向いて「在宅医療」に貢献する重要性も高まっています。

「違いを共に生きる」という理念の下、2010年に「健康医療科学部 医療貢献学科」を開設し、言語聴覚士・視能訓練士を養成してきた愛知淑徳大学では、このような社会変化に的確に対応するため、2024年4月より「理学療法学専攻」と「臨床検査学専攻」の新設を構想しています。診療に貢献する(できる)「理学療法士」「臨床検査技師」を育成し、病気・障がいの予防から健康増進につながるチーム医療・地域医療のニーズに応えます。



地域に貢献できるチーム医療の担い手を育成する

Major of Physical Therapy Sciences

理学療法学専攻

定員40名

小児から成人・高齢者まですべての世代に対応できるリハビリテーション専門職としての理学療法士をめざす。

小児から成人・高齢者まですべての世代を対象としたチーム医療の一員として働くことのできる理学療法士の専門能力と多職種連携能力を養成します。

中でも特に小児理学療法に重点を置いた教育をおこないます。



特色①

小児を含む全世代への対応力

あらゆる世代に対応できる理学療法士の確かな実践力を養います。その上で、小児理学療法分野の教育に力を入れ、小児の理学療法にも精通した理学療法士を育てます。

特色②

多職種間連携の視点と問題解決力

理学療法士をはじめとする多様な医療従事者がそれぞれの専門性を発揮してチーム医療に参加することが可能な、多職種間連携教育に準拠した教育課程を編成しています。

特色③

地域の医療介護福祉分野に貢献する力

誰もが自分らしく暮らせることができるまちづくりをめざし、地域の医療介護福祉施設と連携した実践的な学びを構想しています。

専門科目ピックアップ

小児理学療法学

小児期から成人までの発達を理解した上で、脳性麻痺、二分脊椎、運動発達遅滞、自閉症スペクトラム障害などの重要な小児疾患について学びます。

小児理学療法学実習

小児疾患から生じる障がいの評価と治療を学ぶ実習です。また、小児期の医療に関わる関連職種の役割を理解し、チーム医療の全体像を把握します。

取得可能な資格

理学療法士(国家試験受験資格)

期待される進路

- 病院・クリニック・小児療育施設などでチーム医療を担う理学療法士
- 医療機関・介護福祉施設や在宅などで地域医療介護に貢献する理学療法士
- 大学院進学、大学・研究機関、医療介護関連企業の研究開発部門における研究者・開発者

■ 恵まれた学びの環境

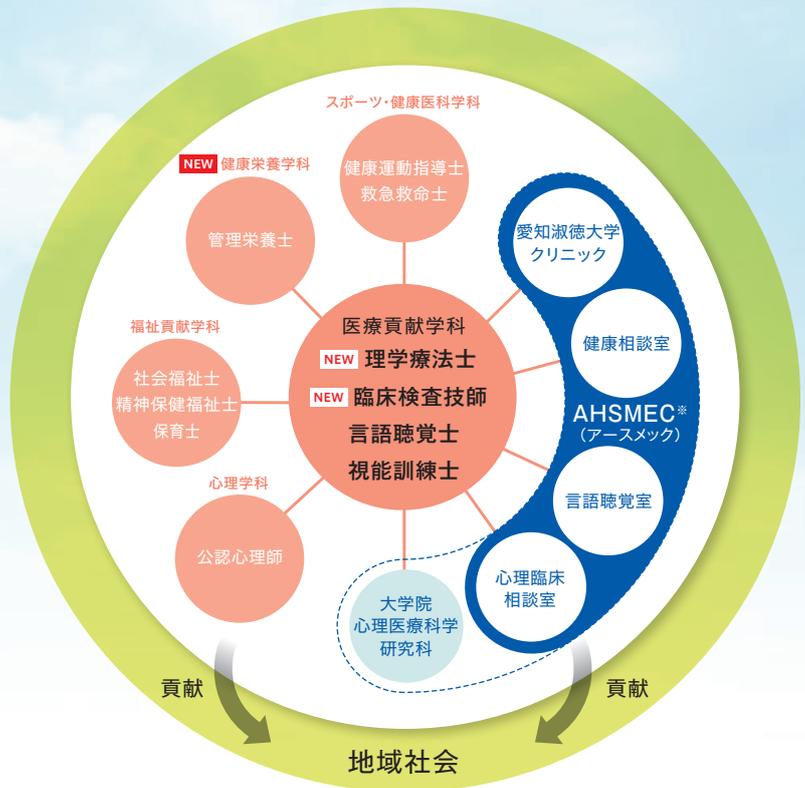
キャンパス内の医療機関で実践的教育

愛知淑徳大学クリニックなどからなる愛知淑徳大学 健康・医療・教育センター「AHSMEC*」をキャンパス内に併設。検査や診療の実践の場であるクリニックは同じ建物内(新棟13号棟)にあり、リアルな医療現場に学生は毎日のように接することができます。実習機関としてはもちろん、卒業研究のための臨床データ提供など、実践的教育の場として機能しています。

※Advanced Health Support, Medical Care, and Education Center



長久手キャンパス(新棟13号棟)イメージ



保健・医療・福祉分野の専門職を養成する学部・学科・専攻やAHSMEC*をはじめとする大学施設との連携により、「チーム医療」を想定した実践的な学びを通じ、多職種連携能力を養うことができます。

Major of Medical Technology

臨床検査学専攻

定員40名

最先端の臨床検査技術・知識を学び、
チーム医療の一員として
地域医療に活かす。

チーム医療の一員として働くことのできる臨床検査の専門能力と多職種連携能力を備え、健康長寿社会に向けた高度先進医療や地域医療へのニーズに応える臨床検査技師を養成します。



特色①

先制医療と地域医療

組織や臓器の再生、遺伝情報(ゲノム)の活用といった先制医療に用いられる検査技術を学び、今後ニーズが高まる在宅医療・予防医療・個別化医療に活かす力を身につけます。

特色②

多職種連携能力

医療貢献学科の他専攻をはじめとする医療・福祉系の学部生と小グループでおこなう演習科目などにより、チーム医療に不可欠な多職種連携能力や医療人としての倫理観を養います。

特色③

リサーチマインド(探究心)

学んだ検査技術を実践するだけでなく、「なぜそれがいいか」「より良い方法はないか」を探究し続ける姿勢や志を、「臨床検査学研究」「卒業論文」などの科目で養成します。

専門科目ピックアップ

病理検査学

病理検査では臓器を構成する組織、組織を構成する細胞を顕微鏡などで観察し、病気かどうかを判断します。AIを用いた最先端の検査技術も学びます。

地域医療検査学

臨床検査技師は検査室から地域へと活動の場を拡大していきます。在宅での臨床検査とデータ管理、地域医療における臨床検査学の役割や可能性を理解します。

取得可能な資格 **臨床検査技師** (国家試験受験資格)

期待される進路

- 総合病院・大学病院・クリニックにおけるチーム医療の一員として、また、在宅医療の現場で働く臨床検査技師
- 臨床検査センター・健診センターなどで地域医療・予防医療に貢献する臨床検査技師
- 大学院進学、大学・研究機関、医療介護関連企業の研究開発部門における研究者・開発者

健康医療科学部 医療貢献学科[既設2専攻]

言語聴覚学専攻

やさしさや強さを備え、ことばや聴こえの障がいをも的確に理解して改善を図ることのできる言語聴覚士を養成します。

特色

- ▶ 「言語聴覚士」の国家試験受験資格が取得可能
- ▶ 言語聴覚士、医師、音響・言語学者らによる専門教育
- ▶ 全国80施設の実習先で高い臨床能力と人間性を養う

2021年度
国家試験合格率

合格率

82.9% (受験者数 41名
合格者数 34名)
全国平均 合格率75.0%

主な就職先

- 愛知学院大学歯学部附属病院
- 愛知県青い鳥医療療育センター
- JA愛知厚生連 知多厚生病院
- 国立病院機構 東名古屋病院
- 信州大学医学部附属病院
- 東京慈恵会医科大学附属病院
- 豊田市こども発達センター
- 名古屋市立大学病院
- 名古屋市総合リハビリテーションセンター
- 北海道立子ども総合医療・療育センター

視覚科学専攻

眼や見え方に関する検査・評価技術や視覚障がいのある方への支援能力に加え、科学的思考力を備えた視能訓練士を養成します。

特色

- ▶ 「視能訓練士」の国家試験受験資格が取得可能
- ▶ 「見る」ということを科学的に学ぶ
- ▶ 多くのエキスパートたちから生きた知識を修得

2021年度
国家試験合格率

合格率

94.9% (受験者数 39名
合格者数 37名)
全国平均 合格率91.8%

主な就職先

- あいち小児保健医療総合センター
- 眼科杉田病院
- 大雄会第一病院
- 地域医療機能推進機構 中京病院
- 名古屋市立大学病院
- 名古屋大学医学部附属病院
- 成田記念病院
- 藤田医科大学病院
- 三重大学医学部附属病院
- 安間眼科

設置概要(予定)

修業年限：4年

開設時期：2024年4月

入学定員：医療貢献学科(160名)

理学療法学専攻(40名) 臨床検査学専攻(40名)

言語聴覚学専攻(40名) 視覚科学専攻(40名)

開設場所：愛知淑徳大学 長久手キャンパス

学位：学士(健康医療科学)(Bachelor of Health and Medical Sciences)

学費：■ 理学療法学専攻

入学金を含めた初年次納入金：1,600,000円

【参考】近隣の類似学部・学科の初年次納入金…1,700,000円～1,820,000円

■ 臨床検査学専攻

入学金を含めた初年次納入金：1,600,000円

【参考】近隣の類似学部・学科の初年次納入金…1,650,000円～1,850,000円